

平成30年度 8時間連続水質調査計画書

平成30年9月12日
堀川と生活を考える会

1、調査の目的

堀川の最大の特徴は、自主水源を持たずしかも感潮河川であることであるが、その水質の改善を図るには水質の現状を把握し、その特徴をよく知ることにより対策が可能になる。当会としては、今後の対策立案の一助となる事を願い、感潮河川の水質の特徴を経時的変化の中で調査・解析することを目的とする。

今年度は上げ潮の、干潮時から満潮時までの8時間連続データを採取する。

2、調査地点

以下の7橋 志賀橋、中土戸橋、納屋橋、山王橋、瓶屋橋、大瀬子橋、港新橋

3、調査月日

平成30年10月5日(金) 干潮 (8:46) ⇒ 満潮 (15:40) 名古屋港基準

予備日1 平成30年10月20日(土) 干潮 (9:09) ⇒ 満潮 (15:53) //

予備日2 平成30年10月21日(日) 干潮 (9:53) ⇒ 満潮 (16:22) //

4、調査回数・時刻

10月5日(金)			予備日1 10月20日(土)			予備日2 10月21日(日)		
回数	調査時刻	備考	回数	調査時刻	備考	回数	調査時刻	備考
1	9:00	干 潮	1	9:00	干 潮	1	10:00	干 潮
2	10:00		2	10:00		2	11:00	
3	11:00		3	11:00		3	12:00	
4	12:00		4	12:00		4	13:00	
5	13:00		5	13:00		5	14:00	
6	14:00		6	14:00		6	15:00	
7	15:00	満 潮	7	15:00	満 潮	7	16:00	
8	16:00		8	16:00		8	16:30	満 潮

5、調査項目

- 1) パックテスト pH、COD(高、低)、NH₄(アンモニウム態窒素)
- 2) 機器テスト 気温、水温、塩分、透視度、D0
- 3) 官能検査 臭気
- 4) 観察 川の色、水の色
川の内外の生き物、川面の様子他

D0検査については、

- ・当日は採集容器に採集し保冷剤と共に保管する。(瓶屋橋は当日も測定)
- ・翌日、採集容器を持ち寄り測定する。

6、調査担当箇所

次の7か所を各期で担当する。

☆志賀橋	18~21期	☆瓶屋橋	25・26期
☆中土戸橋	22期	☆大瀬子橋	28期
☆納屋橋	24期	☆港新橋	27期
☆山王橋	23期		

7、採水・調査手順

- ・調査記録用紙は最新の「8時間連続水質調査記録表」を使用する。
- ・各測定点とも、橋(川)の中央部で表層水を採水する。
- ・配布済みの“水質分析マニュアル”(KTS-2013)に基づき行う。

8、追記

1) 当日の実行について

- ・当日は小雨程度でも実行。その時は雨具の用意をお願いします。
- ・当日AM6:00~PM6:00の間の一部にでも、降水確率が60%以上の場合は延期

2) D0調査について

・試料の採取・保存

- ①各橋ごとに、予め抗菌保冷剤を前日から冷凍庫にて冷凍保存し、当日の朝、クーラーボックスに「採取試料保存用100ml 広口瓶」10個（予備2個）とと共に入れて、調査現場までご持参下さい。
- ②各広口瓶には必ず調査地点と採取時間を記入したラベルを貼っておいて下さい。
- ③広口瓶に採水試料を入れる時に、口元まで入れ、中蓋を使用し中の空気を排出し、密閉状態を保つて冷却保存して下さい。

3) 翌日の測定作業

- ①10月6日（調査翌日）、AM10:00~12:00 堀川ギャラリーで実施
- ②D0とNH4を測定
- ③実施日が延期されたら別に定める

4) 器具類の保管

- ・D0試験機は25期で保管
- ・クーラーボックスは各期で保管（清掃・乾燥後）

以上